

年度	事業名	参加延べ人数	回収量	事業費(千円)
13	不法投棄物撤去事業	200人	ポリ容器 6,000個	1,221
14	不法投棄物撤去事業	400人	ポリ容器 4,350個	3,067
15	釜山外国語大学校学生とのボランティアによる海岸清掃(不法投棄物撤去事業)	410人 学生160人 一般250人	漁業用フロート、 ポリ容器、家電製 品等300m ³	4,682 うち処理経費 (2,560)
16	釜山外国語大学校学生とのボランティアによる海岸清掃(不法投棄物撤去事業)	780人 学生260人 一般520人	漁業用フロート、 ポリ容器、家電製 品等510m ³	5,390 うち処理経費 (3,560)
17	・漂流・漂着ゴミ撤去事業 ・漁業公害対策事業	島内13箇所	漁業用フロート、 ポリ容器、家電製 品等720m ³	6,000 うち処理経費 (5,532)
	釜山外国語大学校学生とのボランティアによる海岸清掃	850人 学生240人 一般610人	漁業用フロート、 ポリ容器、家電製 品等650m ³	9,109 うち処理経費 (4,872)
18	第1回日韓学生つしま会議 ～漂着ごみを拾う・考える～ (漂流漂着ゴミ撤去事業)	659人 学生451人 一般208人	漁業用フロート、 ポリ容器、家電製 品等230m ³	6,000 うち処理経費 (2,000)

※平成18年度の日韓学生つしま会議においては、釜山外国語大学校学生は2日間、東亜大学校及び日本側学生は1日間の海岸清掃、JEAN/クリーンアップ全国事務局などの協力により漂着ごみの発生原因と対策を話し合うワークショップを実施しました。

3. NPOなどの主催による清掃活動

(1) 島ゴミサミットつしま会議(主催:JEAN/クリーンアップ全国事務局、特定非営利活動法人パートナーシップオフィス、日韓市民スクエア)

開催年月:平成16年10月 清掃場所:豊玉町志多浦

主な参加者:環境省、国土交通省など行政担当者、研究者、地元住民など約200人。

回収ごみ量:301m³

(2) 国際ロータリークラブによる海岸清掃

開催年月:平成17年6月 清掃場所:美津島町今里

主な参加者:対馬・韓国のロータリークラブ会員、地元企業、産業廃棄物協会など184人。

回収ごみ量:80m³

※ この他、地区単位、漁業協同組合単位で「海の日」などに海岸清掃を実施しています。

4. 漂着ごみの問題点

回収した漂着ごみの処理は、量が膨大なこと、塩分が付着していること、分別が困難なことにより、市の一般廃棄物処理施設で処理できないため、島外への海上輸送を余儀なくされています。このため、処理費用が大きな負担になっています。(8m³コンテナで70,000円程度)

日本の海岸線延長34,850km 国民一人あたり0.23m

対馬市の海岸線延長910km 市民一人あたり23.42m

(漂着ごみの状況が均一であっても約100倍の労力が必要)

対馬市豊玉町 志多浦海岸の漂着状況



↑平成16年10月 漂着状況



↑平成16年10月 島ゴミサ
ミットつしま会議で清掃。
重い漁網のかたまりはクレー
ンが必要。



↑海岸のごみを一掃。



↑平成18年7月 漂着状況 上の写真とは反対側から見ています。
奥の海岸も漁業用フロートの漂着で白くなっています。